



まらり)★



1月10日(水)～11日(木) JA女性部冬期研修会



2018
2
No.858

1月13日(土)～14日(日) JA青年部冬期研修会

JA女性部冬期研修会開催

1月10日(水)～11日(木)、網走観光ホテルに於いて、部員83名が参加し、JA女性部冬期研修会が開催されました。

研修会は、講師に整理収納アドバイザーの川尻 憲司 氏を迎え「楽しく学ぶ お片付け」と題し研修を行いました。

始めにスクリーンを見ながら軽妙な話しぶりで、「収納」の基本は「一目瞭然」「一番目につく所に・見やすく・置き易く、片付かない最大の原因はモノが多い(多すぎる)」、整理とは、必要と不必要を区別する事、収納とは、見つけ出しやすくする事、掃除しやすくする、床置き厳禁など、楽しく愉快にお片付けを目指し、日常の行動の中での整理と清掃の流れを見直す事が出来た研修会でした。

研修会終了後の懇親会には、JA役員も加わり総勢100名が参加しました。

懇親会では、渡邊組合長とJA職員によるカラオケ、女性部は湖南・大東・本郷の3支部と女性部役員によるアトラクション(余興)が行われ、大いに盛り上がりました。



研修会の様子



川野部長



渡邊組合長



真鍋専務



菅野参事



キレッキレのダンスです!!



皆さん健康に!!



BINGO~!!



よっ!!日野ちゃん



OK!!パブリ~!! ん?へんな人が...



キャ~!!くみあいちょ~



みんなでにっこり①



みんなでにっこり②



第42回青年部冬期研修会開催

1月13日(土)～1月14日(日)に網走観光ホテルにて、第42回青年部冬期研修会が開催されました。

今年はスーツの着こなし方、GPSを活用した農業経営についての研修会を開催しました。研修会後は部会・支部視察報告を行い、1年間の活動の成果、課題などを報告しました。その後の懇親会では、講師の方々と交流を深め、部員一同大いに盛り上がりました。



丹治部長



綱領朗読



講師の皆さん



研修会の様子①



研修会の様子②



研修会の様子③



部会報告①



部会報告②



部会報告③



部会報告④



支部報告①



支部報告②

農業における労務管理と 社会保険制度に係る研修会を開催

農業における労務管理と社会保険制度に係る研修会が平成29年12月18日(月)に開催されました。

講師には、オホーツク労働事務所の多田学代表を招き、雇用(労働力)確保にあたっての労務管理と社会保険制度の重要性と社会保険料の仕組みなどをわかり易く説明頂きました。講演後の質疑応答も活発に行われ、有意義な研修会となりました。

労務管理と社会保険制度に係る知識は、法人化を目指す方は必須となりますし、個人事業においても労働力の安定確保に向けた労働環境の整備においては重要な知識となります。本年度においても同様の研修会を企画して参りますので、ご案内の折にはご参加を宜しく願います。

尚、本研修会はJAGグループ北海道担い手確保・育成支援事業における農業経営コンサルタント事業を活用し、JA北海道信連北見支所のご支援により開催しました。



栽培技術講習会を開催

12月22日(金)、農協大会議室にて栽培技術講習会を開催致しました。講師には農業改良普及センター、ホクレン原料所の職員を招いて防除ガイドの変更点や栽培技術に関して説明を行いました。生産者やJA職員など多数参加し、30年度に向けて熱心に耳を傾けていました。



女満別町稲作生産組合

鏡餅 寄贈

年末の恒例行事となっております女満別町稲作生産組合(宮本昭信組合長)からの大空町とJAへの鏡餅贈呈が12月28日(木)に行われました。

鏡餅は、女満別産の「きたゆきもち」5升を使い作られた、とても大きなものです。

贈呈された鏡餅は、大空町役場では1階ロビーに、JAでは組合長室に飾った後に、金融窓口にて飾らせて頂きました。



カルビーポテト(株) 2017年度 生産者表彰キャンペーン表彰式

1月9日(火)、札幌「プレミアホテルTUBA K1」に於いて生産者表彰式が行われ、谷直樹さん(開陽)が優秀生産者部門の成績優秀者として受賞されました。

この式典では、全道各地のカルビーポテト(株)契約農家1,100戸のうち成績優秀者10名、地区別高反収3名、先進的取組1名の表彰がありました。



カルビーポテト(株)中村社長(左端)と表彰された皆様(右から4番目が谷直樹さん、右から3番目が奥様の美肖さん)

女満別野菜入り カップラーメン期間限定販売

サンヨー食品(株)が、全農とのコラボ企画として商品化しました「サッポロ一番カップスター北海道産じゃがいも使用みそラーメン」が2月13日より全国で発売されます。

この商品には女満別産じゃがいも「トヨシロ」が使用されており「JAめまんべつロゴマーク」がパッケージ側面に印刷されています。

期間限定販売の商品となっていますので、スーパーなどでお見かけの際は、是非ご賞味下さい。



平成29年度 資格試験資格認定証授与式

1月25日(木)、平成29年度資格試験認定証授与式が行われ、渡邊組合長より合格証が授与されました。

今後も資格試験等の取得を奨励し職員教育に取り組んで参ります。

資格名	所属課	氏名
農協職員資格認定試験(上級)	農産課	南部亮太郎
農協職員資格認定試験(中級)	青果課	岩本 英記
//	営農課	日野 壮太
農協職員資格認定試験(初級)	資材課	高木 健也
//	青果課	後藤まあや
//	金融課	伊成 涼菜
//	農産課	大高 舞花
営農指導員	青果課	下山 享伸



野菜の栄養、

おいしく無駄なく

いただきます！

健康のため、意識して野菜を取ることを心掛けている人は多いはず。実は、その調理法を変えるだけで、もっと効果的に栄養を取ることができるといえます。今注目の書籍『その調理、9割の栄養捨ててます！』を監修したお2人に教えていただきました。



東京慈恵会医科大学附属病院栄養部の管理栄養士、濱裕宣さん（左）と赤石定典さんにお話を聞きました。学祖である高木兼寛氏の教えに基づき、患者に麦ご飯を提供しています。また、野菜の栄養をしっかりと取る月に1度の慈恵オリジナルカレーも好評です。

今日からすぐに生かせる知識が満載！



『その調理、9割の栄養捨ててます！』

監修：東京慈恵会医科大学附属病院 栄養部
発行：世界文化社 定価：1,400円+税

病院食レシピの先駆けである東京慈恵会医科大学の監修により、最新の知見に基づき食材の栄養素を最大限生かす調理法をまとめた一冊。切り方、加熱の有無、保存方法、食べ方、食材の組み合わせなどを食材ごとに分かりやすく紹介しています。



イラスト：石川ともこ

驚きの新事実！

知らないと損する 栄養の取り方

野菜の栄養成分は減っている!?

現代人は野菜不足だといわれています。時間に追われるライフスタイルや食生活の乱れなど、私たちを取り巻く環境が大きく要因ともいわれています。だからこそ野菜を頑張つて取ろうと心掛けている人もいるでしょう。しかしながら、野菜の栄養成分は昔に比べて激減しているのです。例えば、50年前と現在で、一般に売られている野菜の栄養成分を比べた場合、ニンジンのビタミンAやホウレンソウの鉄分は80%以上も減少、キャベツのビタミンCは半分近く減っています。特に減少が顕著なのは、ビタミンやミネラルですが、それだけでなく精製技術が発達したことで主食である米などの他、穀類の栄養も減っています。

野菜を無駄なくいただく

ならばなおのことしっかりと野菜を取ろうと思われたいではないでしょうか。しかし、ただたくさん食べれば良いというものではありません。同じ野菜でも、調理方法によって体に届く栄養素の量に違いがあるからです。

調理法とは、切り方、加熱の有無、保存方法、食べ方、食材の組み合わせなどですが、今までの調理法では、実は栄養分の9割以上も失っていた（ロスしていた）、などということも考えられます。野菜の栄養分を逃がさない調理法を知り、しっかりと栄養が取れる食べ方を心掛けるようにしましょう。

効率良く栄養を取る

野菜の皮や葉、根、種子など、いつも捨てていた部分に栄養がたっぷり詰まっていることが多いのです。例えばジャガイモやゴボウ、ダイコン、ニンジンなどの根菜類は、皮のすぐ下に栄養がたっぷり。カボチャやピーマンのいわゆるワタの部分には、普段食べている部分にはない栄養成分が含まれています。農家の方々が丹精込めて栽培している野菜を、感謝の気持ちと共に無駄なく調理したいものです。

野菜別 栄養素を最大限に取る調理法大公開！



キャベツ

スープで、栄養分を余すところなく

- キャベツから発見された成分ビタミンU(キャベジン)。胃の調子を整え、胃潰瘍などを防ぐビタミンで、胃腸薬にも含まれている成分です。
- ビタミンCは特に外側の緑色が濃い部分に多く含まれます。次に多いのが芯の周辺で、カルシウムやアミノ酸も豊富です。

調理のポイント

生ではたくさん食べられません。炒めると3〜4割、蒸しても2〜3割ほどビタミンCが減るので、汁まで飲めるスープがおすすめ。一部は酸化しますが9割は取ることができます。ビタミンUは水溶性なのでこれも余さず取れます。



ニンジン

皮ごと&加熱調理しよう

- ニンジンの葉には可食部分の5倍のカルシウム、3倍のタンパク質が含まれています。また、根菜類は栄養が葉の成長に使われるため、葉付きニンジンを手に入れたら、すぐに葉と根を切り分けて使いましょう。
- ニンジンの皮にはβ-カロテンが豊富に含まれています。栄養分は芯を通じて中心部から葉に送られるため、時間がたつと中心部の栄養素はほぼなくなります。

調理のポイント

皮ごと食べればβ-カロテンは2.5倍に、ポリフェノールは4倍になります。ニンジンに含まれるβ-カロテンは加熱すると生で取るより吸収率が2倍以上になります。さらに油を使うことで吸収率が70%まで上がります。炒めたり、油であえたりする調理法がお勧めです。



ゴボウ

皮むきなし、あく抜きなしで

- 皮の栄養素に注目。皮部分のポリフェノール、クロロゲン酸はハウレンソウの3倍以上あります。
- 選び方は、根元を持って真っすぐ立つ物を。立たない物は中心部に「す」が入って、スカスカになっていることがあります。

調理のポイント

あく抜きが基本といわれる野菜ですが、栄養的には皮むきもあく抜きもしない方が断然有利。クロロゲン酸は糖尿病や脂肪の蓄積を予防する働きがあるといわれます。洗いゴボウはクロロゲン酸が減っているため、泥付きがおすすめ。あく抜きするとクロロゲン酸が流失するだけでなく、水溶性の食物繊維も減ってしまうので洗うだけでよいでしょう。あく抜き同様、下ゆでもクロロゲン酸が流失します。細かいカットも抗酸化力が落ちるので、大きめのカットに。



長ネギ

油と合わせて加熱すべし

- 白い部分にはアリシンが豊富。アリシンは血液をサラサラにし、殺菌効果が高いので、白い部分をしっかり食べましょう。
- 緑の部分にはβ-カロテンやカルシウムが豊富。野菜スープのだしなどに使うのも良いでしょう。

調理のポイント

ネギの抗酸化力は加熱することで2.5倍にUP。ネギは古くから風邪対策に良いといわれている食材。アリシンの殺菌効果と緑の部分に含まれるフルクタンという糖は、インフルエンザ予防に効果があります。加熱することでアリシンもフルクタンも甘味が引き出されます。油で焼くとβ-カロテンの吸収率が上がります。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

昨年11月21日に札幌市で開催した「J A北海道大会実践フォーラム」では、J A北海道大会（平成27年開催）の決議事項の実践機運を高めること等を目的に、『新規担い手倍増』と『道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりと准組合員制度』をテーマに取り上げ、J Aの実践事例発表とパネルディスカッションにより、『担い手受け入れへの地域合意形成』と『准組合員との関係強化』の大切さなどを再認識する場となりました。



J Aによる事例発表の様子↑

J A北海道信連

昨年11月に「食」と「農」をテーマに開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」に参加しました。当日は、キャンペーンチラシの配布などでJ Aバンク北海道や「ドローン貯キャンペーン」等のPRを行ったほか、口座開設を予約された方に「ちよリスブランケット」をプレゼントしました。今後も積極的にイベント等へ参加し、J AバンクのPRを通じて、サポーターづくりに取組んで参ります。



ホクレン

道産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に酪農家の拠出金で継続的に実施している「ミルクランド北海道」事業の一環として、東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設「コピス吉祥寺」に期間限定ショップ「MILKLAND HOKKAIDO OTOKYO」（平成29年11月15日～平成30年3月25日）を開催し、北海道酪農を広くPRしております。会場では北海道の酪農家が実際に訪れ、来場者と交流するイベントも毎月開催しています。



J A共済連北海道

2月5日から12日まで開催される「第69回さつぽろ雪まつり」7丁目会場にて、平成29年度J A共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品65点を展示します。

J AとJ A共済連北海道は、交通安全の大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの作品を通して、交通事故防止の意識づくりにつながりたいと考えています。



昨年の会場の様子↑

J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。





理事会レポート

第11回12/22開催

組合員状況 12月末日現在

組合員数		前月対比
正組合員	438名	(-1)
	(内13法人含む)	
戸数	291戸	(±0)
准組合員		
団体	156団体	(-2)
個人	259名	(+1)

◇議案

第1号 広域穀類施設用地造成費用の固定資産計上について

第2号 給与規程の改正について

第3号 余裕金の運用計画及び運用方針について

第4号 特定組合員に対する資金貸付について

第5号 組合員の持分譲渡について

正組合員7名、准組合員1名の持分譲渡が承認されました。

第6号 出資金の減口について

准組合員の出資金減口が承認されました。

＝協議報告事項＝

1. 自民党 野菜・畑作等対策委員会との意見交換会について
2. 第5回オホーツク農協組合長会議について
3. 自民党 畜産・酪農対策小委員会との意見交換会について
4. 北見地区米麦改良協会消費地視察研修について
5. 第5回オホーツク農協畑作青果対策委員会について
6. 内部監査の実施状況報告について
7. 11月末財務状況及び決算見込について
8. 地区懇談会の顛末について
9. 平成29年度クミカン収支見込について
10. 特定組合員のクミカン年度末見込みについて
11. 平成28年産澱原馬鈴薯本精算について
12. 平成28年産民間流通小麦共同計算精算について
13. 平成28年産規格外小麦の精算内容報告及び流通円滑化対策交付金の支払いについて
14. 平成28年産春掘り長芋の本精算について
15. 平成29年産秋掘り長芋概算金並びに春掘り長芋の仮渡金の支払いについて
16. ホクレン延払制度の連動型資金の利率について
17. 組合員の異動について
正組合員1名の加入並びに正組合員1名と准組合員、2団体の脱退が報告されました。
18. JA北海道大会決議の実践状況に関する正・准組合員アンケートの実施について
19. オホーツクビーンズファクトリーのハンドクリーム斡旋販売について

12月15日開催 北見黒毛和牛市場成績

(価格 円)

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	791,733	892,365	821,566	896,777
	出場頭数	234	250	32	43
	成立頭数	197	231	31	43
雌牛	平均価格	654,915	769,274	687,325	780,570
	出場頭数	142	144	17	20
	成立頭数	124	134	17	20

※価格は1頭平均・税込価格



理事会レポート

第12回1/22開催

組合員状況 1月末日現在

組合員数		前月対比
正組合員	435名	(-3)
	(内14法人含む)	
戸数	286戸	(-5)
准組合員		
団体	155団体	(-1)
個人	264名	(+5)

◇議案

- 第1号 平成29年度第3回監査報告について
- 第2号 生乳受託販売規程の一部改正について
- 第3号 資産の償却・引当基準の一部改正について
- 第4号 平成28年度ポジティブリスト損害見舞金基金取崩し並びに基金利息元加について
- 第5号 平成30年度内部監査計画の策定について
- 第6号 特定信用事業電子決済等代行業に係る農協法改正をふまえたJAバンクとしての対応について
- 第7号 共済事業の共同実施に関する契約の再締結について
- 第8号 期末賞与の支給について
- 第9号 出資金の減口について
組合員6名の出資金減口が承認されました。
- 第10号 組合員の持分譲渡について
正組合員9名の持分譲渡が承認されました。

＝協議報告事項＝

1. 第3回美幌広域連理事会について
2. 第6回ビホロ農工連役員会について
3. 第1回オホーツク農協米対策委員会について
4. 第6回オホーツク農協組合長会議について
5. 第2回オホーツク管内農業団体ジャガイモシロシストセンチュウ対策本部会議の開催について
6. 役員報酬審議会の答申について
7. 12月末財務状況及び決算見込について
8. JAマイカーローンキャンペーンの実施について
9. 平成29年度クミカン取引実績報告について
10. 役員に対する数量払仮渡金による資金融通について
11. 組合員の異動について

正組合員2名の加入及び准組合員1名の脱退、並びに組合員から准組合員への資格変更5名が報告されました。

退職のご案内



管理部 管理課 経理係

大塚 奈々
(旧姓 乃村)

勤続：3年10カ月
退職日：平成30年1月31日付

～お世話になりました～

1月19日開催 北見黒毛和牛市場成績

(価格 円)

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	784,648	914,942	834,261	967,842
	出場頭数	217	236	29	20
	成立頭数	171	196	28	20
雌牛	平均価格	668,017	778,463	681,065	804,346
	出場頭数	119	148	15	17
	成立頭数	101	144	13	17

※価格は1頭平均・税込価格



消費税の納税義務

消費税（地方消費税を含む、以下同じ）は物品の売買やサービスの提供などにかかる税金です。例えば、消費者が商店で10000円の買い物をしたとします。この際80円の消費税を上乗せして10800円を商店（事業者）に支払います。事業者は受け取った消費税相当分80円を税務署に納めます。

個人事業者の場合、原則として1月1日から12月31日までの1年間で課税期間として、その間に預かった消費税から仕入れなどにより支払った消費税を控除した金額を翌年3月31日までに申告および納税をします。ただし、前々年における課税対象となる売上高（課税売上高）が1000万円以下の小規模事業者に関しては、消費税の納税義務が免除されています。この場合、農業と不動産賃貸業など複数の事業を行っているときは、これらの事業の課税売上高の合計額で判定します。また、農業用機械、事業用車両、アパート建物（土地は除く）などの事業用資産を売却したことによる譲渡所得があつ

たときは、その売却収入も課税売上高に合算します。

相続が発生し被相続人が営んでいた事業を相続人が承継した際、

(1) その相続人が被相続人が営んでいた事業を承継し、初めて事業を営む場合、(2) その相続人がすでに別の事業を営んでいた場合があります。(1)の場合、相続開始年またはその翌年は、相続開始年の前々年または前年における被相続人の課税売上高が1000万円を超えているとき、相続開始年の翌々年は、相続開始年の被相続人および相続人の課税売上高を合算した金額が1000万円を超えているときに相続人について消費税の納税義務があります。(2)の場合、相続開始年は、前々年の被相続人または相続人いずれかの課税売上高が1000万円を超えているとき、相続開始年の翌年または翌々年は、相続開始年の前年または前々年における被相続人および相続人の課税売上高を合算した金額が1000万円を超えているときに相続人について納税義務があります。

1000万円以下 1000万円超



相続開始年の前年または前々年における被相続人および相続人の課税売上高を合算した金額が1000万円を超えているときに相続人について納税義務があります。



安全意識を高めよう

農業者の方は、品質の良い作物を多く収穫し、収入拡大に結び付けることにまい進している日々でしょう。そのためには毎日の生活・作業が安全に行われることが必須です。交通死亡事故は年々減少の傾向を示しており、農作業死亡事故も最近

は減少の兆しが見えてきました。しかし、事故ゼロには至りません。なぜでしょうか。誰もが意識して事故を起こそうとはしていませんが、飲酒事故がゼロにならないように「危ないことが起こるかもしれないが、自分は大丈夫」という自信過剰があることと、規律を守ることの意識が低いことから、飲酒運転事例が後を絶ちません。農作業事故でも同様に、基本から外れた使い方をすることに

よって発生する事故が大半です。

事故が自分だけへの影響では済まないことを自覚しなければなりません。事故を起こしたことに對して、医療費、賠償金の支払いや臨時の雇用など支出の増大の他に、社会的な批判、すぐには消えない精神的な負担、収穫適期を逃すことによる減収や品質低下など多くのマイナスとなつて、事故者やその周囲に関わつてきます。

乳幼児や高齢者、障害のある人に對しては、安全確保のお手伝いをしなければなりません。そうではない年齢層では、自分で自分および仲間の安全を確保するように行動しなければいけません。過去に見聞きしたり経験した危ないことをわが身に当てはめて考え、実際の事故だけではなく、ヒヤリハット体験、さらに、何事もなく一日が終わったことに対する安全面からの検証などを行うことにより、安全は確保されていきます。

安全の確保は、臆病とは違います。事故の芽を一刻も早く察知し、退治するか逃れることができるような意識を常に持つことが必要なのです。安全は自分で「創る」のです。



キラキラ青年部 ～青年部紹介～



いし はら かず まさ
石 原 和 将

28歳・O型
大東地区

- 就農年数
9年目
- 趣味・特技
ドライブ、スノーボード
- 好きな女性のタイプ
お喋りが好きな人
- 最近ハマっていること
PS3のファームリングシミュレーターで遊ぶこと。
- 農家をやってよかったこと
親の大変さを知ったことと地域の年の近い人と話すことが増えたこと。
- 今後の目標
親から少しでも早く経営全般を任せられるように頑張っていきたい。

【連載】今こそJA！その意義と役割

第5回 JAの地域貢献②

北海道の商業店舗数は減少傾向が続いており、特に町村部で大きく減少している状況にあります。週末に車で遠くの大型店舗へ買物に行くことができれば問題はないのかもしれませんが、近くに店舗が無ければ生活にも支障をきたすこととなります。こうした買物対策の一環として、JAグループでは食料品等の生活物資を車に積んで巡回販売を行う移動販売車の設置に力を入れています。現在、ホクレン系の「実り恵み号」のほかJA独自で運行しているものなど含め全道で13台が運行しています。

地域から人を減らさないためには生活基盤をしっかりと守ること。JAの地域貢献は様々な形で行われています。

店舗が無い地域での買物はもちろんのこと、高齢者や家事に忙しい母親などの負担軽減に役立つばかりではなく、JAと組合員とのコミュニケーションに一役買っています。また、最近では移動販売車の運営にもJA毎に工夫を凝らしています。留萌管内のJAオロロンでは北海道



実り恵み号